

真福寺

その気持ちをカタチに…

暦の上では2月3日は立春で春の始まりです。寒さはこれから本番というところですが、春も近づいてきて少し嬉しくなります。でも、花粉の飛散開始が早くも1月に確認されたというニュースが流れ、そろそろ花粉症に悩まされる季節も始まります。

フジテレビのCMがACジャパンに差し替わっていたのを見て、昔話題となったACジャパンのCMを思い出しました。2011年3月11日東日本大震災が発生した後に流れたCMです。このCMは、宮澤章二氏の「行為の意味」という詩の一節を用いています。

「こころ」はだれにも見えないけれど「こころづかい」は見える

「思い」は見えないけれど「思いやり」はだれにでも見える **その気持ちをカタチに**

CMでは、電車の中で席を譲る行為、階段でおばあさんに手を貸す行為が紹介されます。そのとき動画と一緒に流れるフレーズが上記の言葉です。未曾有の大震災で傷ついた心にこの言葉が響きました。この言葉は、被害に遭われ、大きな悲しみを抱え、厳しい避難所生活を強いられている皆さんへの「思い」を、しっかりと形（行動）に表していくことが大切だということを教えてくれています。この詩の原文を紹介します。

「行為の意味」

宮澤章二

あなたの心はどんな形ですかと人に聞かれても答えようがない

自分にも 他人にも心は見えないけれど ほんとうに見えないのであろうか

確かに心はだれにも見えないけれど 心づかいは見えるのだ

それは 人に対する積極的な行為だから

同じように胸の中の思いは見えないけれど 思いやりは見えるのだ

それは 人に対する積極的な行為だから

あたたかい心が あたたかい行為になり やさしい思いが やさしい行為になるとき

「心」も「思い」も、初めて美しく生きる

それは人が人として生きることだ

改めてこの詩を読んでもみると、人々がもつ「思いやりの心」がいかに大切かを知ることができます。1月8日の朝会で、「今年の干支は巳：へびです。へびは脱皮を繰り返して成長します。自分には無理であると挑戦する前から諦めたり、失敗したら恥ずかしいからと自分の殻に閉じこもったりせず、今年は、自分の殻を打ち破って色々なことにチャレンジしてください。」と話をしました。勇気を出して、温かい心を温かい行為につなげ、優しい思いを優しい行為につなげてほしいと思っています。

校長 鈴木 みどり